1 緒言

デュークラバシチニブは、経口投与可能な、選択的チロシンキナーゼ 2（TYK2）阻害剤である。TYK2 は、炎症性サイトカインであるインターロイキン（IL）-12、IL-23 及び I 型インターフェロンの受容体の下流にあるシグナル伝達性転写因子蛋白質のリン酸化を触媒する非受容体型チロシンキナーゼであり、デュークラバシチニブは、TYK2 のキナーゼドメイン内の活性部位ではなく、シュードキナーゼドメインに選択的に結合するという作用機序を持つ。本剤は、「既存治療で効果不十分な下記疾患　尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症」を効能・効果として 2022 年 9 月 26 日に本邦で製造販売承認を取得している。

本製造販売承認事項一部変更承認申請で目的とする本剤の適応症は、乾癬性関節炎である。